

別記様式その1（第7条関係）

令和2年4月10日

いなべ市議会議長 水谷治喜様

会派名 いなべ未来
経理責任者 小川幹則



令和元年度政務活動費収支報告について

いなべ市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、別紙のとおり令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。



別記様式その2（第7条関係）

令和元年度政務活動費収支報告書

会 派 名 いなべ未来

1 収 入
政務活動費 1, 530, 000 円

2 支 出 1, 366, 797 円

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	908, 176	視察研修参加費他
広 報 費	299, 669	会派だより発行費
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費	158, 952	会派用パソコン購入

注 備考欄には、主たる収支の内容を記載する。

3 残 額 163, 203 円

使途項目別一覧表

使途項目名	研修費
-------	-----

年月日	支出内容	支出額	備考	整理番号
令和元年 7月30日	視察研修参加費	20,000 円	有限会社 ひまわり亭	1
令和元年 7月26日	視察研修先手土産	4,263 円	Patisserie GHIBLI	2
令和元年 7月1日	視察研修参加費	60,648 円	一般社団法人 地方議員研究会	3
令和元年 8月2日	視察研修旅費	312,500 円	三岐鉄道株式会社	4
令和元年 10月25日	視察研修参加費	28,440 円	株式会社 JTB	5
令和元年 11月1日	視察研修旅費	249,310 円	三岐鉄道株式会社 近畿日本鉄道株式会社	6
令和元年 10月25日	研修参加費	72,660 円	株式会社 JTB	7
令和元年 11月1日	視察研修旅費	160,355 円	三岐鉄道株式会社 近畿日本鉄道株式会社	8
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
計		908,176 円		

支 出 伝 票

使途項目	研修費	整理番号	1
支出金額	20,000 円		
支出年月日	令和元年7月30日（金）		
使 途 内 容	視察研修参加費		
領収書・その他証拠書類			
■ 裏面添付			
演題：地産地消を活かした地域づくりについて（食と文化）			
日時：令和元年7月30日（金）午前10時30分～14時30分			
場所：熊本県人吉市矢黒町字西の園1880番地の2 有限会社 ひまわり亭			
参加費 5,000円/人*4名=20,000円			
支 出 先	有限会社 ひまわり亭		
按 分 率 等			
備 考 欄			

視察研修報告書

令和元年8月8日

日 時	令和元年7月30日（火）午前10時30分～14時30分
氏 名	林 正男・岡 英昭・小川幹規・鈴木順子
視 察 名	地産地消を活かした地域づくりについて（食と文化）
視 察 先	有限会社 ひまわり亭
説 明 者	有限会社 ひまわり亭 代表取締役 本田 節
目的・内容	民間として、まちづくり・地域づくりに力を注いでいる本田さんの拠点を訪ね、直に見てどのような取り組みをしてきたのかお話しをお聞きしたいと思い視察に行きました。本田 節さんは、地産地消を基本に、1990年ボランティアグループ「ひまわりグループ」を立ち上げ、「食」を地域資源とした拠点として郷土の家庭料理を中心にまちづくりを推進してきました。現在、彼女は、熊本県人吉市で有限会社ひまわり亭代表取締役として、農村女性の自己実現を目指して様々な事業を実施しています。「生涯現役」という高齢者雇用型を実現し、2年前から農泊も始めました。
成果・所感	1市4町5村の合併という道を選ばなかった地域がどのように自立をしていくのか、広域でどのように連携をとっていくのか、市民が真剣に考え、取り組んでいる事に感激しました。平成18年からスタートしたグリーンツーリズムも12年目を迎え、現状と課題があると教えていただきました。いなべ市で取り組んでいるグリーンツーリズムや民泊事業のお手本になるのではないかと感じました。持続な農山漁村の活性化は、まさしくSDGSです。このような事業を推進するためには、人が大切だと実感いたしました。

資料別添付

支 出 伝 票

使途項目	研修費	整理番号	2
支出金額	4,263 円		
支出年月日	令和元年7月26日（月）		
使 途 内 容	視察研修先手土産		
領収書・その他証拠書類			
■ 裏面添付			
演題：地産地消を活かした地域づくりについて（食と文化）			
日時：令和元年7月30日（金）午前10時30分～14時30分			
場所：熊本県人吉市矢黒町字西の園1880番地の2 有限会社 ひまわり亭			
支 出 先	Patisserie GIBLI		
按 分 率 等			
備 考 欄			

支 出 伝 票

使途項目	研修費	整理番号	3
支出金額	60,648 円		
支出年月日	令和元年7月1日（月）		
使 途 内 容	視察研修参加費		
領収書・その他証拠書類			
■ 裏面添付			
演題：議会改革ブレークスルー10の法則			
日時：令和元年7月31日（水）午前10時～12時30分			
場所：福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル			
参加費 15,000円/人*4名=60,000円			
振込手数料 648円			
計 60,648円			
支 出 先	一般社団法人 地方議員研究会		
按 分 率 等			
備 考 欄			

会派 いなべ未来 研修報告

令和元年7月31日(水) 博多リファレント会議室に於いて麗澤大学客員研究員の松野豊氏の講義を受けた。講義は「議員の仕事」(基礎編) 議会と会派と議員のありかたと題したものであった。

。地方議会は合議制の議事機関であり、選挙によって選ばれた市民の代表である議員の集合体であり、民意を反映する場である。自治体における最高の意思決定機関であり、住民が直接選挙で選んだ代表者で構成される組織(二元代表制)である。

執行機関(首長)と独立対等の関係で、条例の制定、予算の決定、地方税に関する議決のほか執行機関の監視、議会の組織運営などの権限を持つ。

。地方議会議員の活動を分解図(WBS)で整理してみる必要がある。「議会活動」(本会議—一般質問、討論・採決等。委員会—議案審議、視察等)、「会派活動」(視察、代表者会議等)、「議員活動」(式典、審議会等出席。市政報告会、会報発行等)、「選挙活動」(個人演説会、ポスター作成等)

。「市民に用かれた信頼される議会」の実現。「見られる議会」から「見たくなる議会」への変革。

。時間管理のマトリックス—重要事項を優先する。「緊急」「緊急でない」「重要」「重要でない」「必須」「準備・計画」「錯覚」「浪費」を頭の中の見える化、話のプロセスの見える化をして、自分の五感で「一次情報」を取る。等々基礎編で

あったが、原点に返って議員の仕事の内容を把握できた研修であった

支 出 伝 票

使途項目	研修費	整理番号	4
支出金額	312,500 円		
支出年月日	令和元年8月2日（金）		
使 途 内 容	視察研修旅費		
領収書・その他証拠書類			
■ 裏面添付			
演題：地産地消を活かした地域づくりについて（食と文化）			
日時：令和元年7月30日（金）午前10時30分～14時30分			
場所：熊本県人吉市矢黒町字西の園1880番地の2 有限会社 ひまわり亭			
演題：議会改革ブレイクスルー10の法則			
日時：令和元年7月31日（水）午前10時～12時30分			
場所：福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル （地方議員研究会）			
支 出 先	三岐鉄道株式会社		
按 分 率 等			
備 考 欄			

視察研修旅費明細書

会 派 名	いなべ未来	代表者印	
氏 名	鈴木順子 小川幹則 林 正男 岡 英昭	経理責任者	
視 察 日	令和元年7月29日（月）～7月31日（水）	使途項目	研修費
視 察 内 容	7/30（火） 地産地消を活かした地域づくりについて（食と文化） 7/31（水） 議会改革ブレークスルー10の法則	整理番号	4
視 察 先	7/30（火） 熊本県人吉市矢黒町字西の園1880番地の2 有限会社 ひまわり亭 7/31（水） 福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル（地方議員研究会）		

月日	出発地	到着地	宿泊地	電車賃		宿泊料		合 計
				路程	額	夜数	額	
7/29	いなべ市	四日市市	三岐鉄道 三岐線	大安→ 近鉄富田	430			430
	四日市市	名古屋市	近鉄	近鉄富田→ 近鉄名古屋	560			560
	名古屋市	人吉市	JR (乗車券往 新幹線 指定席	名古屋⇄ 人吉	23,320			23,320
	名古屋市	福岡市		名古屋→ 博多	7,620			7,620
			福岡市内泊			1	14,800	14,800
7/30	福岡市	熊本市	新幹線 指定席	博多→ 熊本	3,200			3,200
	熊本市	人吉市	JR 指定席	熊本→ 人吉	1,450			1,450
	人吉市	福岡市	新幹線 指定席	新八代→ 博多	3,200			3,200
			福岡市内泊			1	14,800	14,800
7/31	福岡市	名古屋市	新幹線 指定席	博多→ 名古屋	7,620			7,620
	名古屋市	四日市市	近鉄	近鉄名古屋 →近鉄富田	560			560
	四日市市	いなべ市	三岐鉄道 三岐線	近鉄富田→ 大安	430			430
計					48,390	2	29,600	77,990

交通費	48,390	円
宿泊費	29,600	円
計	77,990	円

77,990*4名=311,960円 取扱手数料 540円 合計 312,500円

※7月30日（火）の研修について、三岐鉄道三岐線大安始発5時45分近鉄富田行きに乗車しても会議開始時間に間に合わないため、前日の29日（月）に出発しました。

支 払 証 明 書

金 額	3,440 円
支出項目	☐ 調査研究費 ☒ 研修費 ☐ 広報費
	☐ 広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費
	☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費
	☐ 事務所費 ☐ ☐
内 容	視察研修旅費
支払年月日	令和元年7月29日(月) 令和元年7月31日(水)
支払先住所	三重県四日市市富田三丁目22番83号
支払先名称	三岐鉄道株式会社
(三岐鉄道三岐線 大安近鉄富田往復 430円*4名*2=3,440円) 上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。 令和元年8月7日 会 派 名 いなべ未来 代表者名 鈴木順子 	

支 出 伝 票

使途項目	研修 費	整理番号	5
支 出 金 額	28,440 円		
支出年月日	令和元年10月25日（金）		
使 途 内 容	視察研修参加費		
領収書・その他証拠書類 ■ 裏面添付 第14回全国市議会議長会研究フォーラムin高知 日時 令和元年10月30日（水）、31日（木） 場所 高知県高知市布師田3992-2 高知ちばさんセンター 内容 基調講演 中島岳志（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授） パネルディスカッション 坪井ゆづる（朝日新聞論説委員） 他 課題討議 滝沢一成（上越市議会議員） 他			
支 出 先	株式会社JTB		
按 分 率 等			
備 考 欄			

全国市議会議長会研究フォーラム in 高知

令和元年10月30日（水）～31日（木）、高知市ちばさんセンターに於いて開催された、研究フォーラムに会派「いなべ未来」（鈴木順子代表、林正男、岡英昭、小川幹則各会員）で参加した。

第1日目（30日）第1部として、東京工業大学の中島岳志教授による「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」と題しての基調講演があった。その中で、リスクの社会化とリスクの個人化の縦軸とリベラルとパターナルとの横軸を設定。自民党の歴代のリーダーたちの保守と位置付けられる人からリベラルに近い人の表示があり、その中間的な位置としてフィーバーし、誕生したのがみんなの党であったが、永田町の論理の政治から脱却できず国民から魅力を失い消滅した。次に「枝野立て」の声で、立憲民主党フィーバーが起き、「立憲民主党はあなたです。」のキーワードで、国民が自ら政治に参加できると考えたが、その後の「新たな物語の欠如」で埋没し、代わって本年夏の参議院選挙でれいわ新選組フィーバーが出現。これからは「寛容」としてのリベラルと伝統主義である自然的保守主義が共生し、「リベラル保守」として進むべきである、との趣旨の講演であった。

第2部は朝日新聞の坪井ゆづる氏のコーディネーター、市町村職員中央研修所学長の高部正男氏他、大学准教授、商店街組合代表、高知市議会議長のパネリストによる「議会活性化のための船中八策」と題してのパネルディスカッションがあった。それぞれの立場による地域課題、少子高齢化社会に向けた取り組み事例が紹介され、参考となるべき点は各地の議会に持ち帰ることとなった。

第2日目（31日）は第3部として3市議会の議長による課題討議が行われた。男女参画社会、女性議員が進出しやすい環境作りの実践、議会改革をさらに進める取り組み、市民と議会との距離を縮めるため議会活性化の方策などが壇上で討議された。それぞれの議会でのテーマ、課題について取り組み実践してきた事柄が会場に報告された。報告された多くの事例は大いにいなべ市にも生かせることが多々あり、実り多い研究フォーラムであった。

視察研修報告書

令和元年11月5日

日 時	令和元年10月30日（水）、31日（木）
氏 名	林 正男・岡 英昭・小川幹規・鈴木順子
視 察 名	第14回全国市議会議長会研究フォーラムin高知
視 察 先	高知ちばさんセンター
説 明 者	基調講演 中島岳志（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授） パネルディスカッション 坪井ゆづる（朝日新聞論説委員） 高部正男（市町村職員中央研修所学長） 横田響子（株コラボ代表取締役/お茶の水女子大学客員准教授） 古田康造（高松丸亀町商店街振興組合理事長） 田辺 剛（高知市議会議長） 課題討議 坪井ゆづる（朝日新聞論説委員） 滝沢一成（上越市議会議員） 久坂くにえ（鎌倉市議会議長） 小林雄二（周南市議会議長）
目的・内容	全国市議会議長会研究フォーラムの二日目に行われた課題討議「議会活性化のために船中八策」を聞いてきました。コーディネーターとして朝日新聞論説委員の坪井氏、事例報告者として上越市議会議員の滝沢氏、鎌倉市議会議長の久坂氏、周南市議会議長の小林氏が登壇いたしました。最近の議員の「なり手不足」や「女性議員が少ない」など朝日新聞が行ったアンケートをもとに議論が進められました。事例報告者の方々からは、各市町の取り組みが報告され、厳しい現実があるということです。
成果・所感	議員のなり手不足に対しては、どこの地域でも起きている問題だと実感いたしました。問題解決に向けて議会改革や議会の透明化など様々な取り組みをしていますが、現実的にむづかしいと感じました。市民の声をどのように聞いているのかという質問に対して、議会報告会もあげられていましたが、その他には、委員会ごとに対象者やテーマを決めて意見交換会をしているなど、参考となる事例もありました。3市の抱えている問題点は、いなべ市としても同様な問題であり、今後も解決にむけて真摯に取り組む必要があると感じました。

支 出 伝 票

使途項目	研修費	整理番号	6
支出金額	249,310 円		
支出年月日	令和元年11月1日（金）		
使 途 内 容	視察研修旅費		
領収書・その他証拠書類			
■ 裏面添付			
第14回全国市議会議長会研究フォーラムin高知			
日時 令和元年10月30日（水）、31日（木）			
場所 高知県高知市布師田3992-2 高知ちばさんセンター			
内容 基調講演 中島岳志（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）			
パネルディスカッション 坪井ゆづる（朝日新聞論説委員） 他			
課題討議 滝沢一成（上越市議会議員） 他			
支 出 先	三岐鉄道株式会社 近畿日本鉄道株式会社		
按 分 率 等			
備 考 欄			

視察研修旅費明細書

会 派 名	いなべ未来	代表者印	
氏 名	鈴木順子 小川幹則 岡 英昭 林 正男	経理責任者	
視 察 日	令和元年10月30日（水）、31日（木）	使途項目	研修費
視 察 内 容	第14回全国市議会議長会研究フォーラムin高知	整理番号	6
視 察 先	高知県高知市 高知ちばさんセンター		

月日	出発地	到着地	宿泊地	電車賃		宿泊料		合 計
				路程	額	夜数	額	
令和元年 10月29日	いなべ市	高知市		阿下喜→ 西桑名	510			510
				桑名→ 名古屋	350			350
				名古屋→ 高知(乗車券)	9,010			9,010
				名古屋→ 岡山(特急券)	5,030			5,030
				岡山→ 高知(特急券)	1,340			1,340
			高知市内泊			1	14,800	14,800
令和元年 10月30日			高知市内泊			1	14,800	14,800
令和元年 10月31日				高知→ 名古屋(乗車 券)	9,010			9,010
				高知→ 岡山(特急券)	1,360			1,360
				岡山→ 名古屋(特急 券)	5,120			5,120
				名古屋→ 桑名	350			350
				西桑名→ 阿下喜	510			510
計					32,590	2	29,600	62,190

交通費	32,590 円	62,190円/人*4人=248,760円 取扱手数料 550円 計 249,310円
宿泊費	29,600 円	
合 計	62,190 円	

※当日の三岐鉄道三岐線始発に乗車しても会議開始時刻13時までに到着することが困難なため、前日からの行程としました。

支 払 証 明 書

金 額	6,880 円
支出項目	☐ 調査研究費 ☒ 研修費 ☐ 広報費
	☐ 広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費
	☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費
	☐ 事務所費 ☐ ☐
内 容	第14回全国市議会議長会研究フォーラムin高知
支払年月日	令和元年10月29日（火）、31日（木）
支払先住所	①三重県四日市市富田三丁目22番83号 ②大阪府大阪市天王寺区上本町6丁目1番55号
支払先名称	①三岐鉄道株式会社 ②近畿日本鉄道株式会社
上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。 令和元年11月7日 会 派 名 いなべ未来 代表者名 鈴木順子 印	

支 出 伝 票

使途項目	研修 費	整理番号	7
支 出 金 額	72,660 円		
支出年月日	令和元年10月25日（金）		
使 途 内 容	視察研修参加費		
領収書・その他証拠書類 ■ 裏面添付 第81回全国都市問題会議 日時 令和元年11月7日（木）、8日（金） 場所 鹿児島県霧島市国分清水309 霧島市国分体育館 内容 基調講演 志學館大学人間関係学部教授 原口 泉 一般報告 鹿児島県霧島市長 中重真一 他 パネルディスカッション 田中正人 他 参加費負担金 10,000円/人*3人=30,000円 宿泊費負担金 7,000円/人*3人*2泊=42,000円 振込手数料 660円 計 72,660円			
支 出 先	株式会社JTB		
按 分 率 等			
備 考 欄			

視察研修報告書

令和元年11月15日

日 時	令和元年11月7日（木）9時30分から 11月8日（金）10時から
氏 名	小川幹則 鈴木順子 岡 英昭
視 察 名	第81回全国都市問題会議
視 察 先	鹿児島県霧島市国分清水309 霧島市国分体育館
説 明 者	基調講演 志學館大学人間関係学部教授 原口 泉 一般報告 鹿児島県霧島市長 中重真一 他 パネルディスカッション 田中正人 他
目的・内容	防災に関する行政の施策や自治会をはじめとした、各自治体における地域単位での取り組み等について、鹿児島県霧島市さんでの例を参考にさせていただくと共に、有識者の経験談や研究の成果を基礎とした基調講演や災害を経験された報告、更にはパネルディスカッションにより、今回のテーマ【防災とコミュニティ】についての知識を習得することを目的とする。
成果・所感	全国的にも大規模災害が発生する中で、自治体が主になっての災害対応【公助】だけでは行き詰まり感は否めず、住民も積極的に対応する【自助】とともに、地域に関連する組織【自治会、企業、ボランティア等】との連携【共助】の必要性が重要視され、これら【公助、自助、共助】を地域の特性に合わせながら災害に供えていくことが課題であると感じた。いなべ市においても、常に危機感と緊張感を持って防災対策に取り組んでいかなければ成らない必要性を改めて認識したと共に、今回の研修で取得した事柄をフィードバック出来る様、より一層学んで行きたい。

資料別添付

支 出 伝 票

使途項目	研修費	整理番号	8
支出金額	160,355 円		
支出年月日	令和元年10月25日（金）		
使 途 内 容	視察研修旅費		
領収書・その他証拠書類			
■ 裏面添付			
第81回全国都市問題会議			
日時 令和元年11月7日（木）、8日（金）			
場所 鹿児島県霧島市国分清水309 霧島市国分体育館			
内容 基調講演 志學館大学人間関係学部教授 原口 泉			
一般報告 鹿児島県霧島市長 中重真一 他			
パネルディスカッション 田中正人 他			
支 出 先	株式会社JTB		
按 分 率 等			
備 考 欄			

支 払 証 明 書

金 額	5,160 円
支出項目	☐ 調査研究費 ☒ 研修費 ☐ 広報費
	☐ 広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費
	☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費
	☐ 事務所費 ☐ ☐
内 容	第81回全国都市問題会議
支払年月日	令和元年11月6日（水）、8日（金）
支払先住所	①三重県四日市市富田三丁目22番83号 ②大阪府大阪市天王寺区上本町6丁目1番55号
支払先名称	①三岐鉄道株式会社 ②近畿日本鉄道株式会社
上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。 令和元年11月15日 会 派 名 いなべ未来 代表者名 鈴木順子 	

使途項目別一覧表

使途項目名	広報費
-------	-----

年月日	支出内容	支出額	備考	整理番号
令和元年 7月5日	会派だより第10号発行費	149,580 円	共栄堂印刷株式会社	1
令和2年 3月30日	会派だより第11号発行費	150,089 円	共栄堂印刷株式会社	2
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
計		299,669 円		

支 出 伝 票

使途項目	広報費	整理番号	1
支出金額	149,580 円		
支出年月日	令和元年7月5日（金）		
使 途 内 容	会派だより第10号発行費		
領収書・その他証拠書類			
■ 裏面添付			
会派だより第10号発行費			
いなべ未来活動報告 A3判 両面刷 2折			
発行費 10,650枚*8.50円=90,525円			
新聞折込料 10,550枚*4.50円=47,475円（7月7日折込）			
（90,525+47,475）*1.08=149,040円			
振込手数料 540円			
合計 149,580円			
支 出 先	共栄堂印刷株式会社		
按 分 率 等			
備 考 欄			

いなべ市議会

「いなべ未来」活動報告

はやし まさお
林 正 男藤原町大貝戸672
電話46-4775おか ひで あき
岡 英 昭大安町石神北539
電話78-0894すず き じゅん こ
鈴木 順 子大安町中央ヶ丘1-2971-19
電話78-2839お が わ も と の り
小 川 幹 則大安町梅戸707-1
電話77-0331

ご 挨拶

5月1日より「平成」から「令和」と新たな年号に変わり、新たな時代の幕開けを迎えました。

時を同じくして、いなべ市におきましても新庁舎が開庁され、今後のいなべ市のさらなる発展を期待するところであり、併設して作られた「にぎわいの森」も、毎日多くの来場者で賑わいを見せており、市外からの来場者も多く、いなべ市のPRに繋がっていると感じております。東海環状自動車道の大安インターチェンジも開通され、さらには北勢インターチェンジも計画されており、市内への企業誘致も期待されるところです。

現在、他市町からの視察も多く、議長として多忙な毎日を送っております。いなべ市議会におきましても、新たな議場で、市民に開かれた議会として、市長とともに、二元代表制の下、活発な議論が行われ、市民の福祉の増進及び公平かつ公正な市政の発展に繋がるよう努めてまいります。



いなべ市議会 議長 林 正 男

「暮らしの保健室」にインタビュー

今回は、員弁町楚原駅近くの放課後児童クラブ「スプリング」に併設されて、新しく始まりました「いなべ暮らしの保健室」について、運営している理学療法士の水谷さん、石川さん、看護師の喜多村さん、ケアマネジャーの中尾さんの4人にお話しをお聞きしました。

鈴木：水谷さん、やっとここまで来ましたね。

水谷：はい。市長といなべ市福祉部のご理解のおかげです。

鈴木：どのような思いから「暮らしの保健室」を始められたのですか。

水谷：私は、小山田記念温泉病院で長く努めていたのですが、仕事をしていく中で、3年前ぐらいから退院した患者さんが自宅で安心して暮らし続けるために、「暮らしの保健室」の必要性を感じていました。

中尾：そうなんです。退院されてからさまざまな困りごとがあるのではないかと私も感じていましたので、何でも相談できるような「暮らしの保健室」のお手伝いをしたいと思いました。

鈴木：今はどのような活動をしているのですか。

水谷：地域のサロンや運動クラブ等に参加させていただいたり、移動販売にお供したりして、市民の皆さんと交流している段階です。

石川：先日は、地域の方に熱中症対策のお話がありました。

鈴木：地域の方から、理学療法士や看護師といった専門職の方が地元に来ていただけることに感謝して感謝されました。

喜多村：まずは地域の皆さんと仲良くなるところからですね。

鈴木：喜多村さんは、三重県で唯一のコミュニティナーサスですね。

喜多村：はい。地域で気軽に医療・介護を中心に困りごとが相談できる場所として「暮らしの保健室」の取り組みに賛同して私も参加しました。

鈴木：今後のビジョンをお聞かせください。

水谷：子供からお年寄りまで幅広い方たちに、



健康意識を高めていけるような取り組みをしていきたいと思っています。

鈴木：具体的にはどのような活動を推進していくのですか。

水谷：地域の困りごとが解決できるような取り組みをしていきたいですね。

中尾：移動カフェ、おうち食堂、シェアキッチンなどでできれば…

石川：地域の皆さんの体重、筋肉量、栄養などデータを取り、正しい健康づくりや予防など発信できればと考えています。

喜多村：福祉部や社協との連携が不可欠だと思います。

水谷：いなべ市民のみなさんの健康を守るために、食生活、運動習慣の改善につなげるなど、地域で元気に暮らせることを目的として、いろいろなおもしろい取り組みを考えていきます。

鈴木：若くて熱意あるメンバーが集まったの取り組みに、大変期待しております。一緒に頑張りましょう!!

by 鈴木 順 子

岡 英昭 一般質問

新規自衛官募集事務について、首相は6割以上の自治体が協力を拒否していると憂慮を表明した。自衛官は日本国を守り、国民の生命・財産を守るという崇高な職務を担っている。自衛隊法で自治体が自衛官募集に関する事務の一部を求めることができると定めている。地方自治体によっては、適齢者名簿を作成し、自衛隊に提出したり、住民基本台帳の書き写し等の事務を行っている。現在、自衛官の定数は24万7千人。充足率は89.9%で約2万3千人が不足し、自衛官は100%の仕事で90%の人員でこなしていることになる。人員不足は少子化とともに自衛官募集に対する卑劣な妨害工作も一因になっているということである。自衛隊本部不足や東日本大震災等の緊急事態の場合、迅速に拡充活動するのが予備自衛官である。予備自衛官は退官者しかいないが、さらに拡充補完する制度として平成13年に本業や日常生活を過ごしつつ、いざという時に活動する予備自衛官補公募採用制度が設けられている。そこで

質問1 自衛官募集事務に積極的協力を。

答弁 市長 当然の法令受託事務として行う。

質問2 自衛官募集事務の実情、協力いただける組織は。

答弁 総務部長 適齢者名簿の提供を行って

いる。募集要項を広報誌に掲載したり、説明会の場所提供をしている。募集相談員、委員家族会が協力。

質問3 予備自衛官補の募集活動は。

答弁 総務部長 三重地本が行っており市は関わっていない。

質問4 昨年度行われた県の入隊予定者激励会の状況は。

答弁 総務部長 募集相談員、担当職員等が出席。市でも同様の激励会を行っている。

質問5 教育環境整備に関わる諸課題について問う。

小学校における英語科、外国語活動の状況は。

答弁 教育長 全面実施になると3・4年生は35時間、5・6年生70時間の授業時数と増加する。現在は担任とALTとでスムーズに生き生きと活動している。



質問6 小中一貫教育を進める本市での小学校の英語の教科化は。

答弁 教育長 いなべ市版の英語教本を使ってどの学校も同じ内容の授業を行い、中学校の英語科教員とも連携を進めている。

質問7 小学校における教科担任制の導入は。

答弁 教育長 音楽等で専科制を採っているが教科担任制は現段階では難しいが検討はしていく。

質問8 新庁舎に一体化したなかでの庁内人事関係は問う。

昨年度多くの幹部職員の定年退職があったが、今年度の市政運営への影響は。

答弁 総務部長 これまでに経験のない退職者数であったが前年度に次長を据え、円滑に移行できた。

質問9 新庁舎に部局が一体化したことでの人事面での変化は。

答弁 総務部長 連絡調整等直接顔を見ながらスムーズにコミュニケーションでき、一体感が増した。

質問10 再雇用、新規採用等今後の人事計画は。

答弁 総務部長 年齢を平準化させ外部委託も含め安定した組織運営となるよう将来を見据えた人事計画を立てる。

岡から 新庁舎に一体化した職員組織でさらなる市民の福祉向上を！

小川 幹則 一般質問

市民の皆さんが安心して暮らせる環境づくりと安全確保の取り組みを、市と共に実現したいとの思いを込めて、6月議会に行った一般質問と答弁をご紹介します。最初に、災害時の防犯及び避難所対策、次に交通安全対策と認知症支援事業について質問し、市の積極的な対応を要望しました。

質問1 災害時の情報発信には信頼性が重要だが、情報伝達に有効な体制は取れているか。また電波状況の良くない地域への、停電時の対策はどの様に考えているのか。

答弁 総務部長 情報伝達システムとして防災ラジオを、電波状況の良くない地域には、CTYテレビから受信できる接続部品を配布しています。情報が伝わりにくい停電時に備え、地域の協力体制づくりに取り組みます。

質問2 市内21カ所の避難所に、停電時のための屋外照明等のソーラー化と、避難所への誘導灯を兼ねた一部防犯灯のソーラー化への考えを問う。

答弁 総務部長 暗闇の中で灯があれば、避難

者が心強く感じます。しかし、外灯を設けるには市単独では難しく、県の補助制度活用により対応します。

質問3 昨年度に質問した「避難所運営マニュアル手引き」の作成や「ベットに関する災害対策の協定書」締結への取り組み状況について問う。

答弁 総務部長 今年度個々の避難所開設準備マニュアルを策定しているので、運用時には市民にも提供します。ベットに関する協定書は12月までに締結します。

質問4 大津市の園児死亡事故の教訓も踏まえ、交通安全環境づくりと効果的な対策を問います。

センターラインや側線の修繕と、通学路等の安全対策に早急に取り組む必要があると考えるがどうか。

答弁 建設部長 センターラインや側線等の危険箇所の点検を進め対策を講じます。笠間小学校周辺の舗装とラインの修繕を早期に手掛けます。

質問5 自転車による事故が多発し、高額な賠償金支払いの判例が相次いでいる。保険加入と啓発への取り組みを問う。



答弁 教育部長

小中学校生の保険加入率は約1割。児童生徒と保護者に事故の危険性を訴え、安全運転の啓

発を進めます。

答弁 市長 今後若年層を中心に、自転車マナー研修や損害賠償保険の加入啓発を強化したい。

質問6 認知症総合支援事業の取り組みについて問いました。

認知症見守り対策の対応計画と保険加入の取組み状況はどうか。

答弁 福祉部長 「認知症高齢者等見守りワッペン交付事業」を進め、保険加入も8月実施を目途に要綱整備を進めます。

上記の質問に対し、関係部局より誠実な答弁をいただきました。

防災対策支援事業が推進されました！！

by 鈴木 順子

地震から身を守るためには、家屋の耐震補強も重要ですが、それとともに家具の転倒防止対策をしておくことが大切です。なぜなら地震により家具が転倒し、下敷きになる被害が最も多いからです。しかし、自分で家具に転倒防止金具を取り付けることができない人がいます。私は災害弱者対策としてそういう人たちのために、市は支援する必要があるのではないかと、平成28年6月に議会質問で取り上げました。その後、平成30年8月より、地震の備えに「家具類転倒防止対策事業」が実施されました。これは高齢者、障がい者などの世帯の寝

室や居間の家具類に転倒防止金具を無料で取り付けて頂ける事業です。対象世帯は、75歳以上の人で構成する世帯とか、身体障がい者手帳1級・2級に該当する人を含む世帯など規定があり、要綱も定められています。この事業の対象世帯の方は、もう一度地震対策の見直しをすればいいでしょうか。自分の身は自分で守ることが大切です。



問い合わせ 総務部防災課 86-7746

支 出 伝 票

使途項目	広報 費	整理番号	2
支 出 金 額	150,089 円		
支出年月日	令和2年3月30日（月）		
使 途 内 容	会派だより第11号発行費		
領収書・その他証拠書類			
■ 裏面添付			
会派だより第11号発行費			
いなべ未来活動報告 A3判 両面刷 2折			
発行費 10,450枚*8.60円=89,870円			
新聞折込料 10,350枚*4.50円=46,575円（4月10日折込）			
（89,870+46,575）*1.10=150,089円			
支 出 先	共栄堂印刷株式会社		
按 分 率 等			
備 考 欄			

いなべ市議会

「いなべ未来」活動報告

はやし まさお
林 正男藤原町大貝戸672
電話46-4775おか ひであき
岡 英昭大安町石楠北539
電話78-0894すず き じめん
鈴木 順子大安町中央ヶ丘1-2971-19
電話78-2839お がわ もとあき
小川 幹則大安町梅戸707-1
電話77-0331はら だいいち
原田 敬司北勢町新町281
電話090-7311-8411

ご 挨 拶

桜花らんまんの季節を迎え、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

平素は、私ども、いなべ未来の活動に格別のご指導ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和初の新年度を迎えましたが、残念なことに、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、市民の皆様には、不安な日々をお過ごしのことと思います。東京オリンピック・パラリンピックの開催も延期され、今後の経済状況も心配されるところです。そんな中、3月定例会もコロナ対策をしっかりと取りながらの運営となり

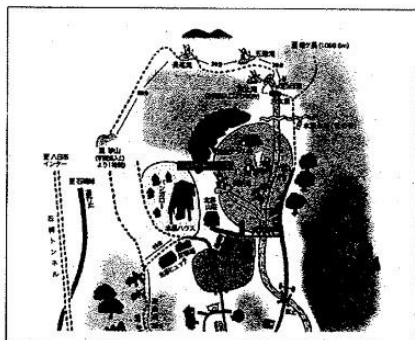
傍聴もお断りする等致しましたが、皆様にはご理解いただき、無事終了することができました。議会としても、インターネットでの録画配信が始まり、いつでも視聴することができるようになりました。また新年より、新たに原田敬司議員が会派いなべ未来に加わり5人体制となりました。若いパワーと発想を期待するところです。このメンバーで切磋琢磨し活動してまいりますので、今後ともご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。

いなべ未来 代表 林 正男

3 月 議 会 を 終 え て

小川 幹 則

新型コロナウイルスがますます深刻さを増し、日常生活にも大きな影響を及ぼしています。卒業式・入学式も大きく姿を変え、公的行事や各種イベントも軒並み中止となることが多く、とにかく一日も早い終息が望まれるばかりです。感染防止には、何よりもお一人お一人の体調管理こそ決め手であり、日頃からの衛生と濃厚接触を避けていただくことをくれぐれも願う次第です。



宇賀溪キャンプ場整備(案)

さて、おかげさまで二期目の活動も折返しを迎えました。二度目の副議長として、改めて職責の重さに身の引き締まる思いです。前回の貴重な経験を活かしてさらに成長させていただきながら、近隣自治体との連携も視野に、いなべ市の今後のあり方・方向性をしっかりと見定め、常に「感謝の気持ち」で市民の皆様のお役に立てますよう、誠心誠意取り組んでまいります。

つきましては、令和2年3月議会が終わりましたので「いなべ未来」の会派広報として、主な議案をご報告させていただきます。

今議会では、市長より施政方針が出され、新たなまちづくりとしての政策等が提示され、また人事案件として、副市長と教育長が新たに任命されました。当初予算としては、中学校ITC整備、スクールバス購入事業、大安公民館トイレ改修事業、宇賀溪キャンプ場整備、ひきこもり支援施設整備事業、員弁リサイクルセンター及び粗大ごみ処理場増

築事業等、今年度も教育と福祉を重視した予算編成となりました。

財政的には、庁舎建設など大型建設事業が終わり、借入償還に対応するための基金の繰入れもなされ、財政健全化に努められています。今後は、この当初予算が堅実に実行されるよう注視して行きます。

「住み良いまち」とは、取りも直さず「子どもや高齢者の笑い声が絶えないまち」長年、市職員として子育て支援や高齢者福祉の第一線で頑張ってきた経験を基に、これからもずっと「心の通う温かいまち・いなべ」であり続けよう、市民の皆様と手を携え、汗を流す覚悟です。

今後とも市民の皆様にいっそう身近な市議会となるよう、公正で透明性のある議会運営に努め、行政とのゆるぎない架け橋をめざしてまいります。何卒変わらぬお力添えとご指導を賜りますようお願い申し上げます。

岡 英 昭 代表質問

質問 1

(1) 合併による特例措置として活用してきた合併特例債が終了した。今後償還額が増加するが、この影響による財政運営はどうなるのか。

答弁 市長 合併以来15年間有利な国の起債を活用し、48事業を予定どおり行い特例債を使い切り、市の基盤をつくった。今後、財政規模を同規模の自治体並みに戻すが、緊急防災等有利な国の資金を活用して市の整備を行うなど市民への影響は特に出ない。普通に帰ったということである。

(2) 市税収入を増やすための手段は。

答弁 市長 東海環状自動車道大安インター開通や道路網の整備が進み、企業からの土地情報や開発についての問い合わせがいくつもあり企業誘致が期待できる。市内企業のさらなる拡張など積極的な設備投資計画もあり、法人市民税や固定資産税の安定化が見込める状況にある。

質問 2

地方創生の進め方

(1) これまで国から副市長を迎えていたが、今回初めて庁内からの任用となる。副市長の職務は事業継続を含めどのようなものか。

答弁 市長

各部局の横断的な調整や入札管理、東海環状自動車道早期開通、土石流対策等継続して取り組む。

(2) 総合窓口課の今後の在り方は。

答弁 市長 証明書の発行業務は今までどおり行うが、藤原は藤原文化センターに、大安は大安公民館に移転する。旧庁舎での業務量は6・7割以上減り、新庁舎が倍増している。市民相談等の重要な案件は本庁舎で行えるよう専門的ベテラン職員を配置するなど機能強化を図る。

(3) 人口減少を防ぐための対策は。



答弁 市長

女性が出産しても離職しなくてもいいような制度作りと女性がキャリアを伸ばせる環境になるよう取り組む。男性の育児参加を推進するため育児休暇を取りやすくなるよう啓発活動を進める。

質問 3 いなべの未来を創るために

(1) 以前より保護者の要望が強い障がい者のグループホーム建設は。

答弁 市長 国の無利子で20億円まで融資可能な資金等を活用し、民間(法人)で運営してもらい持続可能な支援を市が行っていく。旧三里保育園跡地を活用し、保護者の要望も強く、スピード感をもって建設する。

(2) パートナリシップ証明制度の導入が全国に広がりつつあるが、いなべ市の導入は。

答弁 市長 パートナリシップ証明制度の条例化を行い、地域おこし協力隊などと協議し、6月に啓発活動などのイベントを行う。

(3) 「ひきこもり支援センター」の設置は。

答弁 市長 旧阿下喜幼稚園を改装し設置する。「暮らしの保健室」と連携して運営していく。また、人的要件等などが整えば各町に設置したい。

鈴木 順子 一般質問

質問 市民の健康を守るために

健康から要介護に移行する中間の段階をフレイルといい、具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指しています。身体的問題のみならず、認知機能障害やうつなどの精神・心理的問題、独居や経済的困窮などの社会的問題が含まれる多面的な概念です。適切な支援を受けることで健康な状態に戻ることができる時期ともされており、早期発見・早期治療で多くの高齢者の生活機能の維持・向上を図るためにフレイル予防が必要です。どのように推進していくのか。また、妊婦歯科健康診査がいなべ市では実施されていま

せんが、妊娠中の歯科検診はとても大切です。実施すべきと考えますが。

施政方針に「元気みらい都市いなべ」を目指すがありますが、市民の健康を守るために将来の構想は。

答 弁 フレイル予防の考え方を取り入れ、現在実施している介護予防・健康増進事業を栄養、運動、社会参加の観点に整理しさらに進める。また、住民主体の先進的な取り組みを検討していく。妊婦歯科健康診査については、実施に向けて検討する。いなべ市民の健康を守るために、地域包括ケアシステムの構築を目指していますが、それは公助だけでは難しく、自助、互助、共助の役目も重要です。各部署を横断したプロジェクトチームを設け、全世代型の市民の健康を守り、健康寿命の延伸につなげるために「元気みらい都市いなべ」の実現を目指します。

その他に、小規模事業者支援体制の強化について質問いたしました。

☆ 今議会では、市民の健康を守るためにどうすればいいのか、今後市としてどのような構想を持ち推進していくのか、新しい取り組みを提案しながら質問いたしました。

これからも、市民の皆様の声をお聞きし安心して暮らせる町づくりに向けて取り組んでまいります。



原田 敬 司

議員としての思い

補欠選挙で当選させて頂きました原田敬司でございます。

新人議員ではございますが、いなべ市民のために、しっかり汗をかきたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、選挙において、私の公約(目標)は4つ掲げさせていただきました。1つ目は高齢者が安心して暮らせるまち創り。公共交通の充



実、介護・福祉施設の拡充、医療と介護体制の安定化。2つ目は子育て日本一のいなべ創り。児童福祉の充実、産科・小児医療の拡充、保育と教育の支援。3つ目は地域経済の活性化。地域雇用の増加、起業誘致の更なる推進、起業促進と新産業の育成。4つ目は移住を促進し、いなべ創生。いなべ市を全国へPR、空き家対策と活用、移住支援策の拡充。

上記の政策を提言・実現することを目指して、市民の皆様の声に耳を傾けながら、行政と協働して、より良いいなべ市、住んで誇りに思ういなべ市創りを行って参りたいと思います。

私は現地現物現実主義で、現場に出向き、そこで起きていることを肌で感じ取り、自分なりに問題を咀嚼して解決策を見つけて参ります。また商社勤務時代に培った行動力や社交性を活

がして、様々な情報を収集し、多面的な角度から考え、関係者を巻き込みながら、一緒に考えてゆくスタイルをとります。議会活動は一人では議案を審議し、可決に導くことはできません。

所属する会派はベテラン議員の集団です。先輩たちに指導を仰ぎながら、知識・経験・議員としてのセンスを吸収させてもらい、一日でも早く役立つ議員と言われるよう精進して参ります。令和2年度第一回定例会の一般質問では公共交通政策について、提言型で質問しました。GW明けから福祉バスのダイヤ路線が大幅に変わります。是非利用者の方の感想を聞かせていただけると有り難いです。

いなべ市を創るのも一議員を創るのも長い時間がかかります。是非市民の方と共にいなべ市創りに参画させてください。

使途項目別一覧表

使途項目名	事務所	費
-------	-----	---

年月日	支出内容	支出額	備考	整理番号
令和元年 8月9日	会派室用パソコン購入	158,952 円	株式会社 ヤマダ電機	1
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
計		158,952 円		

支 出 伝 票

使途項目	事務所 費	整理番号	1
支 出 金 額	158,952 円		
支出年月日	令和元年8月9日（金）		
使 途 内 容	会派室用パソコン購入		
領収書・その他証拠書類			
■ 裏面添付			
NEC PC-NS600NAW		155,952円	
付属品（接続ケーブル）		3,000円	
計		158,952円	
支 出 先	株式会社ヤマダ電機		
按 分 率 等			
備 考 欄			